

山鹿町若草会 「お年寄りと園児の交流会」

●地域包括支援センターとの連携

会津若松市第2包括支援センターの職員の方々と保育園の職員とで「地域の取り組み」について意見交換を行いました。その中では、高齢化や核家族世帯の増加により、地域や家族などのつながりが薄れ、社会問題となっているため、助け合うことが重要との意見が出されました。そして、「安心・安全に暮らせる町づくりが必要」との共通認識を図りました。

●世代を越えた交流をととして・・・

謹教地区包括支援センター管轄のサロンを利用されている「山鹿町 若草会」の70歳代から90歳代のおじいちゃん・おばあちゃんを保育園にお招きし、年長児32名との交流を図りました。



園児たちによる演舞「白虎隊」や鳴子を使ってリズム遊戯「これが日本のお祭りさ」を披露したり、一緒に手遊びうたで楽しい時間を過ごしました。最初は、お互いに緊張していた様子でしたが、園児と話すことでお年寄りたちにも笑みがこぼれ、いきいきとした姿が見受けられました。

今後も、地域が協力し、気軽に集まれる場所を提供し、何より、参加者が楽しく無理なく参加して、みんなで地域を作り上げていくことが大切だと感じています。



社会福祉法人会津婦人会保育園